



筑波大学
University of Tsukuba

2020 理工情報生命学術院
数理物質科学研究群
入学希望者向け
資料



筑波大学大学院・数理物質科学研究群

二つのノーベル賞に輝く研究群



朝永振一郎博士
ノーベル物理学賞 1965



白川英樹博士
ノーベル化学賞 2000

自然科学の基礎から応用まで

概要



筑波大学大学院・数理物質科学研究群

自然科学の基礎から応用まで

1. 数学 学位プログラム
2. 物理学 学位プログラム
3. 化学 学位プログラム
4. 応用理工学 学位プログラム
 - 電子・物理工学 サブプログラム
 - 物性・分子工学 サブプログラム
 - NIMS関係物質・材料工学 サブプログラム
(物質・材料研究機構)
5. 国際マテリアルズイノベーション学位プログラム

理工融合

強力な連携体制

連携大学院

- ・ 物質・材料研究機構 (NIMS)
- ・ 産業技術総合研究所 (AIST)
- ・ 高エネルギー研究所 (KEK)
- ・ NEC基礎研究所
- ・ 日本原子力研究機構
- ・ 理化学研究所

全国共同利用 計算科学研究センター、プラズマ研究センター 4

2020年度 募集人員

学位プログラム・サブプログラム	前 期	後 期
数学	32	8
物理学	60	17
化学	51	15
電子・物理工学	60	14
物性・分子工学	63	13
NIMS関係物質・材料工学		15
国際マテリアルズイノベーション	10	6
合 計	276	88

学位

学位プログラム・サブプログラム名	取得可能な学位
数学	博士(理学)修士(理学)
物理学	博士(理学)修士(理学)
化学	博士(理学)修士(理学)
電子・物理工学	博士(工学)修士(工学)
物性・分子工学	博士(工学)修士(工学)
NIMS連係物質・材料工学	博士(工学)
国際マテリアルズイノベーション	博士(工学)修士(工学)

修了生の進路

修士取得者(平成26-30年度)

専攻名	総数	教員	企業	公務員	後期進学	その他
数学専攻	110	21	58	2	19	10
物理学専攻	288	10	194	21	45	18
化学専攻	233	9	178	8	28	10
電子・物理工学専攻	324	1	255	2	50	16
物性・分子工学専攻	347	1	270	6	43	27

修了生の進路

博士取得者(平成26-30年度)

専攻名	総数	教員	企業	公務員	研究員	その他
数学専攻	20	5	2	0	12	1
物理学専攻	49	2	10	3	25	9
化学専攻	39	2	17	4	11	5
ナノサイエンス・ ナノテクノロジー専攻**	51	1	12	1	10	27
電子・物理工学専攻	50	1	12	2	9	26
物性・分子工学専攻	49	1	12	2	10	24
物質・材料工学専攻 *	64	1	8	13	18	24

* 平成16年度に新設された専攻

**平成23年度までは物質創成先端科学専攻

筑波大学 社会人のための博士後期課程

早期修了プログラム

筑波大学は頑張る社会人の博士取得を応援します！

早期修了プログラムとは

【最短1年で博士号を取得】

早期修了プログラムは、一定の研究業績や能力を有する社会人を対象に、標準修業年限が3年である博士後期課程を「最短1年で修了し課程博士号を取得するプログラム」であり、「頑張る社会人」を大学として応援するものです。本プログラムでは社会人として積み重ねてきた研究実績や経験を元にして、指導教員から論文作成の指導を受けて博士論文を完成させます。

また、この制度では、論文作成と共に学生が達成すべき項目(7項目)を設定して定期的に評価を行う「達成度評価システム」を採用し、履修生が達成度を確実に確認できるように配慮しています。併せて本プログラム自体が外部からの評価を受けることなどで、プログラムで授与する学位の質を保證しています。

最短1年で博士後期課程を修了し課程博士号を取得するプログラムであり、頑張る社会人を大学として応援するもの



入試・奨学金・進路

大学院入試案内

博士前期課程

入試の種類	出願期間	学力検査日	発表日
推薦入試 9月期	7月21日(火)～ 7月30日(木)	9月1日(火) 国マテ*: 9/1(火), 2(水)	9月11日(金)
一般入試 10月期	9月1日(火)～ 18日(金)	10月14日(水), 15日(木)	11月6日(金)
一般入試 2月期	12月1日(火)～ 18日(金)	2月1日(月), 2日(火) 国マテ*: 2/1(月)～3(水)	2月17日(水)

* 国マテ: 国際マテリアルズイノベーション学位プログラム

推薦入試：推薦要件と試験科目

学位プログラム サブプログラム	推薦要件	試験科目
数学	①or③ 他薦、自薦	小論文、口述試験
物理学	③ 自薦	口述試験
化学	①or③ 他薦、自薦	英語*、専門科目、 口述試験
電子・物理工学	①②or③ ✖ 他薦、自薦	英語*、小論文、 口述試験
物性・分子工学	①②or③ ✖ 他薦、自薦	英語*、小論文、 口述試験

- ① 出願時までに取り得た単位のうち、A(優)の評価を取得した科目の単位が、総取得単位数の**70%以上**を占める者。
- ② 出願時までには修得した単位のうち、A(優)の評価を取得した科目の単位が、総取得単位数の**70%以上**を占めるとともに、TOEICの点数が550点以上(または、ペーパー版TOEFLが487点以上、インターネット版TOEFLが57点以上、コンピューター版TOEFLが163点以上、IELTSの点数が5.0以上のいずれか)の者。
- ③ 各学位プログラムの**特定の研究分野に優れた者**。

* TOEFLの場合は受験者用スコア票、TOEICの場合は公式認定証またはOfficial Score Report、IELTSの場合はアカデミック・モジュールの成績証明書、**TOEFL iBT Special Home Editionの場合は受験者用スコア票を提出**

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により2020年3月以降の外部英語試験の実施が一部中止されていたため、今年度に限り②の推薦要件は適用しない。

一般入試10月期：日程と試験科目

10月14日(水)	午前：専門科目 午後：英語
10月15日(木)	口述試験

英語の試験について

* 数学学位プログラムの該当者は**本学の筆記試験**を受験

* 上記以外の者

下記複数の試験から一つを出願時に選択する

1. **TOEFL**の受験者用スコア票を**試験当日**に提出
2. **TOEIC**の公式認定証または、**TOEIC**の Official Score Reportを**試験当日**に提出
3. **IELTS**のアカデミック・モジュールの成績証明書を**試験当日**に提出
4. **TOEFL iBT Special Home Edition**の受験者用スコア票を**試験当日**に提出

過去の入試問題

- 1) 各事務室で入手可能
- 2) 数学、物理学はHPに掲載

大学院入試案内

博士後期課程

入試の種類	出願期間	学力検査日	発表日
一般入試 10月期	9月1日(火)~ 18日(金)	10月16日(金) 物材*:10/14,15 (水,木)	11月6日(金)
一般入試 2月期	12月1日(火)~ 18日(金)	2月2日(火) 物材*:2/1, 2 (月,火) 国マテ**:2/1 (月)~3(水)	2月17日(水)

* 物材: NIMS 関係物質・材料工学サブプログラム

** 国マテ: 国際マテリアルズイノベーション学位プログラム

入試に関する注意点

※新型コロナウイルス感染症拡大等の今後の状況によっては、オンラインで入試を実施する等、入試方法を変更して実施する可能性があります。また、入試方法の変更に伴い、入試日を追加する可能性があります。募集要項サイトを随時確認してください。

募集要項サイト:

<https://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/>

学 費

入学金 282,000円

授業料 267,900円(年間535,800円の前期分)

経済的理由により納付が困難であり且つ学業優秀な学生には、授業料の全額または一部免除の制度があります

奨学金等

日本学生支援機構

第一種(前期 50千円,88千円、後期80千円,122千円)

第二種(50千円,80千円,100千円,130千円,150千円から選択)

(第一種受給者で業績上位の者に対して、受給終了時に全免あるいは半免となる制度あり)

民間奨学金

RA(リサーチアシスタント:本研究群で支援)(後期)

TA(ティーチングアシスタント)(前期、後期)

日本学術振興会 特別研究員(後期対象:月額20万円支給)

学生生活 (居住)



追越



一の矢 (ショートステイ)



平砂

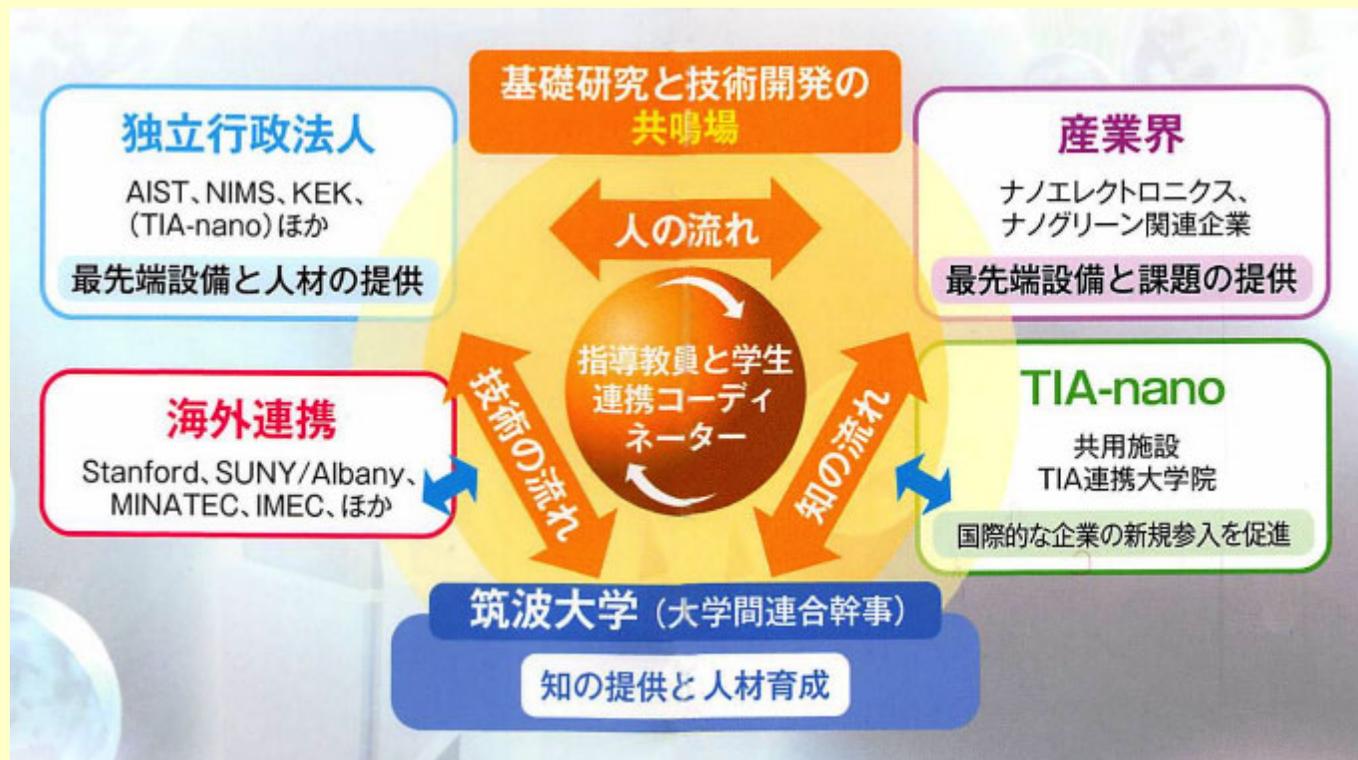
キャンパス内に約4,000人を収容できる**学生宿舎**があります。少数ですが、世帯用も用意されています。また、大学周辺には多くの**民間アパート**があります。

その他

つくば共鳴教育プログラム(後期課程対象)

数理物質科学分野の世界のトップリーダーに不可欠な3つの力(基礎力、俯瞰力、課題発掘力)を養う。

- ・ 連携コーディネーターとの共鳴場
- ・ 海外武者修行(3~4ヶ月)
- ・ 各分野の指定する講義、学外研究活動など



その他のコース

1. インターンシップ（企業、研究機関での就労体験）

2. 海外短期研究派遣（交流協定校での研究体験）

フランス:	グルノーブル・アルプス大学
イスラエル:	テクニオン・イスラエル大学
スロベニア:	リュブリャーナ大学
イタリア:	サレルノ大学
韓国:	釜山大学
韓国:	延世大学

3. より専門化されたコースの履修

パワーエレクトロニクスコース、医工学コース
ナノエレクトロニクスコース、ナノグリーンコース
放射光物質科学コース、